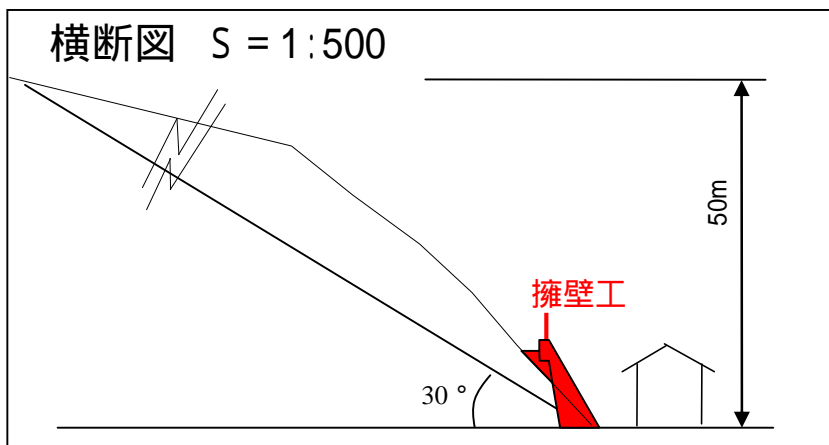
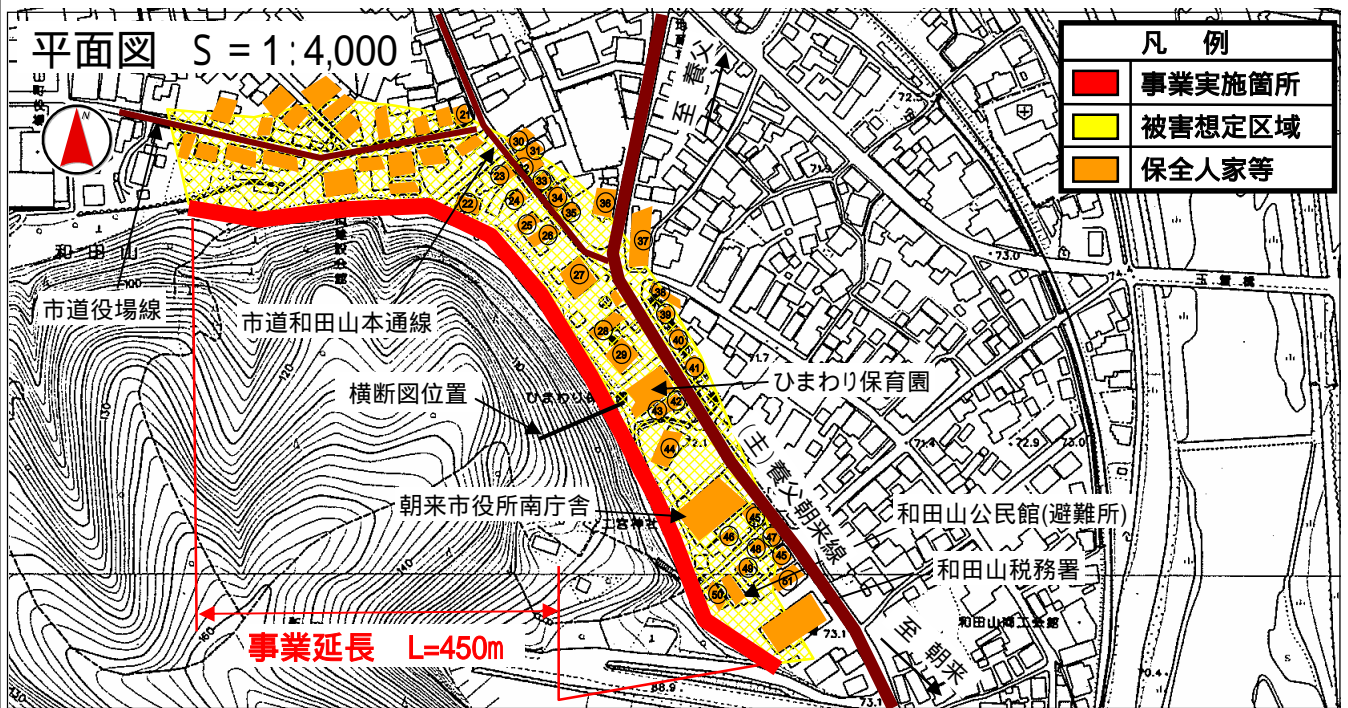
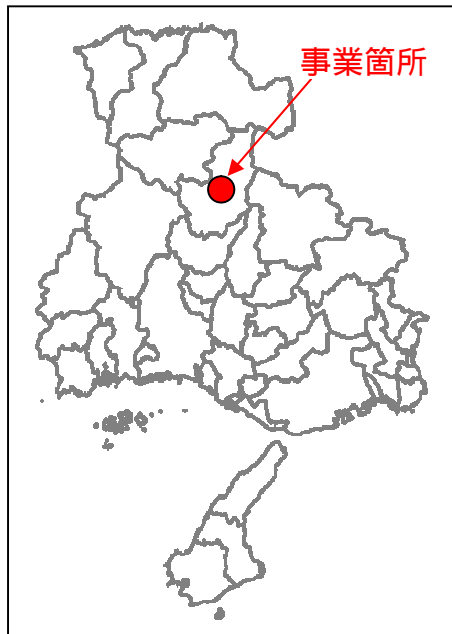


## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本 正利 ( 鶴崎 尚夫 )	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5 億円
		急傾斜地崩壊対策 わだやま 和田山(2)地区	朝来市和田山町 わだやま 和田山	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
朝来市和田山町和田山				H 2 3	H 2 6
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面下部には人家や保育園、市役所、避難所、県道等があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 擁壁工 L = 4 5 0 m 〔負担割合 国 : 4 7 . 5 % 県 : 4 7 . 5 % 地元 : 5 . 0 %〕		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>朝来市役所の南東約200mに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。</li> <li>斜面は表層崩壊跡があり、斜面途中には転石が見られ、落石の危険性が高い。</li> <li>倒木も多く斜面の荒廃が進んでおり、崩壊の危険性が非常に高い。</li> </ul>			
〔保全対象等の状況〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>延長450m、幅50mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。</li> <li>人家51戸、保育園（災害時要援護者施設）、公民館（避難所）、市役所南庁舎、和田山税務署、県道養父朝来線（約150m）、市道（約280m）</li> </ul>			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>平成22年度に土砂災害警戒区域を指定予定であり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められる。これに加え更にハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。</li> </ul>			
〔事業執行環境〕		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の同意を得ているため借地に問題はない。</li> <li>工事予定箇所付近には県道及び市道があるため、工事用進入路に問題が無いことから円滑な事業執行が可能。</li> </ul>			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> <li>斜面の改変を最小限にとどめ、既存斜面の緑を残し、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。</li> </ul>			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> <li>保全人家戸数、保全対象施設が多く、近年に小規模な崩壊が発生しており、早期着手に対する地元要望も強い。</li> </ul>			
以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。					



箇所名 | 和田山(2)地区